

指定地域密着型サービス外部評価 自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  
取り組んでいきたい項目

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                                                         | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                     |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |                                                                                                                                                                         |      |                                                                                      |
| 1. 理念と共有           |                                                                                                                                                                         |      |                                                                                      |
| 1                  | <input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている<br>運営理念を具体化し、玄関など随所に掲示している。                                              |      |                                                                                      |
| 2                  | <input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる<br>申し送りなどの記録ファイルに綴じ、いつでも理念の再確認ができるようにして、理念の実現に向けて日々取り組んでいる。                                 | ○    | 新しい職員は、理念を十分理解していないので、ミーティングや日々の申し送りなどの際に、話し合うようにしていく。                               |
| 3                  | <input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる<br>家族には事業所の取り組みを十分理解してもらっていると思うが、地域住民は事業所があること自体知らない人がいる。           | ○    | 地域の人への啓発はまだまだ不十分な状況なので、運営推進会議での意見である、ほおずき新聞を自治会の回覧板に載せることを進めていく。                     |
| 2. 地域との支えあい        |                                                                                                                                                                         |      |                                                                                      |
| 4                  | <input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている<br>入居者と一緒に近隣の店を利用しながら、気軽に声をかけてもらうようにしたり、外出の際は、向いの酒店駐車場を使用させてもらっている。 | ○    | 近隣の人が気軽に立ち寄るまでには至っていないので、今後も日常的な付き合いができるように取り組んでいく。まずは、近隣の小中学校に働きかけ、訪問等をお願いしていく。     |
| 5                  | <input type="checkbox"/> 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている<br>自治会に加入し、地域の活動には入居者と共に積極的に参加しているが、地域住民との交流までには至っていない。               | ○    | 今年は地区の大イベントである鶴尾神社祭りがあるので、自治会から、何か高齢者でもお手伝いができることのあるのではとの提案があるので、会合などに参加しながら進めていきたい。 |

| 項 目                          |                                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                             |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------|
| 6                            | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                  | 地域の高齢者のために、入浴の支援をしたり、食事の提供などを行っている。                       | ○    | 今後は事業所のイベントや行事などに参加してもらう等、取り組んでいきたい。                         |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |                                                                                                   |                                                           |      |                                                              |
| 7                            | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                           | 職員個々に自己評価を行うことで、サービスを見つめ直す自己啓発の一つとなっている。                  |      |                                                              |
| 8                            | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている           | 会議開催の度に、活発な意見交換や貴重な意見を伺うことができる。地域住民にとって、事業所が今どんな状況なのか分かる。 | ○    | 会議での課題に取り組んでいるが、具体的な成果となっていない。今後は、ほおずき新聞を活かした取り組みを始めていく。     |
| 9                            | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                            | 書類関係の提出時に会う機会があるが、行き来するまでには至っていない。                        | ○    | 運営推進会議を上手く軌道に乗せ、それをきっかけに、市町担当者と共に密な関係が築けるようにしていきたい。          |
| 10                           | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 地域福祉権利擁護事業制度は全職員が理解していて、家族からの相談や個々の必要性を話し合い活用している。        | ○    | 成年後見制度は知っていても、全職員が理解しているとまでは言えず、研修などに積極的に参加して、学ぶ機会を得るようにしたい。 |
| 11                           | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている            | 業務の中で、その時々気づいたことや事例などを話すようにしている。                          |      | 法律としての勉強会を開いてはいないので、今後は半年ごとに勉強会を設けるようにする。                    |

| 項目              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                 | (○印)                                                                                                                    | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 |                                                                                                                 |                                                                                                                         |                                                                 |
| 12              | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                                 | <p>契約や解約の際は、十分な説明を行っている。また、利用していく上で、新たな不安や疑問が生まれてくる場合もあるので、その時々に応じて説明し、理解を得るようにしている。普段から、家族とは密に連絡を取るようにしている。</p>        |                                                                 |
| 13              | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>利用者と個々に出かけ、事業所内では言えない要望や意見などを聞く機会を設けている。利用者が家族などに電話を使用することを支援したり、面会があった場合は、各居室で雑談していただくようにしている。</p>                  |                                                                 |
| 14              | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | <p>毎月、ほおずき新聞と家族への報告書として、各担当者が毎月の様子を手紙に書き、送っている。</p>                                                                     | <p>○</p> <p>写真や映像をCDに保存して、家族に送るように検討中である。</p>                   |
| 15              | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>契約書の中に、苦情、意見等の連絡先を明示している。また、意見箱も設置している。家族が気軽に意見が言えるよう、面会などの際、接するようしたり、連絡を密にしている。</p>                                 |                                                                 |
| 16              | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                                            | <p>月に1回のミーティングと随時の会議等を通して、意見交換などを行っている。また、普段から業務の様子や利用者の状況の把握に努めるようにし、意見や提案をしやすい体制を取っている。</p>                           |                                                                 |
| 17              | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>                      | <p>介護責任者を軸とした体制が整っているので、利用者や家族の状況の変化等に柔軟な対応ができています。</p>                                                                 |                                                                 |
| 18              | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>職員の離職・利用者へのダメージに関しては、難しい項目である。努力することとしては、人員確保を早急に行っているのみで、代わる場合は、なるべく職員が離職する1か月前から人員を確保して、新職員が早くに事業所に慣れるようにしている。</p> | <p>○</p> <p>職員が長く勤めていけるような、魅力ある事業所であるよう、運営者として努力が必要だと思っている。</p> |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                   | (○印)                                                                                   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |                                                                                      |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |                                                                                                   |                                                                                        |                                  |                                                                                      |
| 19                               | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 各方面の研修案内は、すべて職員が目にすることができるようにして、研修への参加や呼びかけは常に行っている。必修の研修に関しては、勤務年数に応じて、受ける機会の確保をしている。 | ○                                | 研修参加は職員の個人の希望に任せているが、今後は職員育成のためにも計画をたてるようにし、全職員が段階に応じた研修を受けることができるよう検討中である。          |
| 20                               | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 職員からの希望があり、各施設に受け入れを要請したが、実現までには至っていない。グループホーム協議会の研修には職員も参加してもらい、情報交換等したり見学等を行っている。    | ○                                | 職員のボランティア登録を行っているので、各施設などへ訪問する機会の確保をして、それをきっかけに、相互訪問の活動が実現できるようにし、サービスの質の向上に努めていきたい。 |
| 21                               | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | シフトは無理のないように休日を組み入れ、個々に偏らないように作成している。                                                  | ○                                | 休憩時間がなかなか取りにくい状況なので、検討している状態である。                                                     |
| 22                               | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | 毎日、入居者の様子を見たり、記録類の確認をし、業務に参加したり、食事を一緒に取りながら、気がついたこと等はそ場で話し合うようにしている。                   |                                  |                                                                                      |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |                                                                                                   |                                                                                        |                                  |                                                                                      |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |                                                                                                   |                                                                                        |                                  |                                                                                      |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | 相談があった場合、入院中であれば家族や病院側に、居宅であれば家族やケアマネージャーに了解を得た上で、時には一緒に、本人と面会して、困りごと等を聞く機会を作りにしている。   |                                  |                                                                                      |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 家族等が不安なことや困っていることを、時には主治医やケアマネージャーと共に、聴く機会をつくるようにしている。また、家族との連絡を密にして、信頼関係を築けるようにしている。  |                                  |                                                                                      |

| 項 目                              |                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                    | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                     | 事業所として、本人と家族が求めていることに対して、できる限り支援していくことを説明するが、他のサービス利用が最も良いと思えるときは、そのことも含めた対応に努めている。                |      |                                  |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 相談があり、面会や情報収集後、すぐに入居ということになってしまっている。その中でも徐々に馴染めるような取り組みはしているが、ショートステイが利用できれば、少しずつ馴染んでの入居が可能になると思う。 | ○    | 短期入居が利用できるように、指定申請を検討中である。       |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |                                                                                                              |                                                                                                    |      |                                  |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                             | 「自分だったらどう思うか」といったことを、常に、頭に置いてサービス行うようにしている。                                                        |      |                                  |
| 28                               | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                       | 家族の立場や生活など、自分に置き換え、一緒になって考え、支援するようにしている。                                                           |      |                                  |
| 29                               | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している                                           | 毎月の写真入りの新聞や手紙、随時の連絡、面会時の報告・会話などで、本人と家族がお互い思いやれるような工夫をしている。                                         |      |                                  |
| 30                               | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                             | 馴染みの店に食事に行ったり、行き慣れた場所への外出、県外であれば、年1回もしくは定期的に帰省に付き添う等の援助を行っている。                                     |      |                                  |
| 31                               | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている                                            | 食事後の下膳や外出の際に車椅子を押したり、利用者同士が助け合い、生活できている。また、職員が間に入り、支援を行っている。                                       |      |                                  |

| 項 目                                |                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                       |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------|
| 32                                 | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      | 契約終了は死亡によることのみだが、命日などに訪問させていただいたり、お墓参り等をして、関係を大切にしている。                                                           |      |                                                        |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |                                                                                                     |                                                                                                                  |      |                                                        |
| 1. 一人ひとりの把握                        |                                                                                                     |                                                                                                                  |      |                                                        |
| 33                                 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                        | 家に帰りたいという利用者には、家族と相談しながら実現への調節を行ったり、生活上の小さなことでも、一人ひとりの希望を把握して、実現できるように努めている。困難な場合も、今までの生活状況等を考慮しながら、本人本位に検討している。 |      |                                                        |
| 34                                 | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 家族等や友人などの面会の際に情報を得たり、外出の際、テレビを見ていた時、利用者同士の会話、日々の生活の中でのちょっとしたことで、その方の生活歴や暮らし方などを把握するように努めている。                     |      |                                                        |
| 35                                 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている                                          | 一人ひとりの日常の生活状態を、個々に記録している。                                                                                        |      |                                                        |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |                                                                                                     |                                                                                                                  |      |                                                        |
| 36                                 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 利用者の日々の会話や訴え等を考慮し、家族との情報交換をして、意向を伺っている。職員で話し合いながら作成している。                                                         | ○    | チームで作る介護計画とはいえないため、もっと本人・家族の意向が反映された介護計画を作成するよう努力していく。 |
| 37                                 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 毎月介護計画の評価を行っており、必要に応じて、見直しをしている。評価は、毎月の様子を手紙に書く際に、家族に報告している。                                                     | ○    | 現状に即した介護計画の見直しをしているとは言えないため、その都度、新しい介護計画の作成をしていくようにする。 |

| 項目                                 |                                                                                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 個別ケース記録を新たにすることで、気づきや個々の報告などが分かりやすく、情報の共有がより確実になっている。            |      |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |                                                                                |                                                                  |      |                                  |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | その時々々の要望に応じた柔軟な支援をしている。                                          |      |                                  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |                                                                                |                                                                  |      |                                  |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 事業所に住所がある利用者に関しては、民生委員の訪問があり、また、自治会での活動もある。消防にも適宜に協力していただいている。   | ○    | 近隣の教育機関に協力を働きかけていくことが、今年度の課題である。 |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 体制はあるが、事例はない。                                                    |      |                                  |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議での意見交換のみである。                                               | ○    | 今後、必要に応じて協働していくようにする。            |
| 43                                 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 定期的に往診していただいたり、かかりつけ医といつでも連絡が取れ、助言等が得られるようにし、適切な医療が受けられるようにしている。 |      |                                  |

| 項 目 |                                                                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                       | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------|
| 44  | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                                              | 専門医に定期的に往診していただき、職員が日常の様子を伝えて、それに対する適切な助言、適切な診断や治療が受けられるようにしている。                      |      |                                      |
| 45  | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている                                                             | かかりつけ医所属の看護師に協力してもらい、気軽に相談しながら、日常の健康管理などの支援をしている。                                     | ○    | 日常の健康管理については、訪問看護との連携を進めていくよう検討中である。 |
| 46  | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | 入院した場合は、できるだけ毎日様子を見に行き、洗濯などの支援、困りごとへの支援や、家族への連絡等を行うようにしている。また、病院関係者との情報交換や相談などに努めている。 |      |                                      |
| 47  | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | 家族と医師と共に話し合い、利用者のために一番良い方法、支援を共有するようにしている。                                            |      |                                      |
| 48  | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 家族や医師と共に話し合い、かかりつけ医に事業所での支援策などを相談しながら、取り組んでいくようにしている。                                 |      |                                      |
| 49  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | 体制はあるが実例はない。                                                                          |      |                                      |



| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                    |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------|
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |                                                                                                   |      |                                                                     |
| 1. その人らしい暮らしの支援                  |                                                                                                   |      |                                                                     |
| (1) 一人ひとりの尊重                     |                                                                                                   |      |                                                                     |
| 50                               | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                     | ○    | <p>事業所の全員が、「自分がされて嫌なことはやらない」ということを頭に入れ、プライバシー確保を徹底していくようにする。</p>    |
| 51                               | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> |      |                                                                     |
| 52                               | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>       | ○    | <p>一人ひとりのペースの把握はしているので、職員も余裕を持って、利用者の希望をゆっくり聞きながら、支援をしていくようにする。</p> |
|                                  |                                                                                                   |      |                                                                     |
| 53                               | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                  |      |                                                                     |
| 54                               | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>           |      |                                                                     |
| 55                               | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>                  |      |                                                                     |

| 項目                                   |                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 56                                   | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している        | 排泄チェック表を作成して、一人ひとりの排泄パターンを把握し、適切なトイレ誘導を行う等して、気持ちよく排泄できるよう支援している。                                               |      |                                                                                 |
| 57                                   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | 一日に入る人数に限られるので、ある程度、曜日は決めているが、利用者の希望で毎日の入浴も実施している。時間帯は、職員の都合で決めている。                                            | ○    | 現在は行っていないが、夜間(就寝前)の入浴を実施していたので支援体制はあり、希望があれば取り組むようにする。                          |
| 58                                   | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                     | 夜眠れない利用者には、日中の作業や体操、散歩等により、居眠りを防止したり、専門医に相談して、安心して気持ちよく眠れるように支援している。                                           |      |                                                                                 |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |                                                                                  |                                                                                                                |      |                                                                                 |
| 59                                   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている  | 農業経験の人は花壇やプランター野菜の栽培、縫製経験の方は繕い物、家事が好きな人は洗濯や掃除など、生活歴や力を活かした役割を持っていただき、映画や芝居、美術館、買物など、一人ひとりの楽しみごとや気晴らしの支援を行っている。 |      |                                                                                 |
| 60                                   | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 家族の了解を得て、利用者に応じて所持してもらい、買物をしたり外出の際の家族へのお土産などを買ったりして、お金を持ち、使えることの支援を行っている。                                      |      |                                                                                 |
| 61                                   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 希望や訴えは聞き、積極的に外に出かけられるよう支援している。                                                                                 | ○    | 今後も、買物・デパートの催し・温泉・映画・芝居・イベント参加・喫茶・外食・祭りなど、普通の生活支援を行っていきたい。                      |
| 62                                   | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 利用者との会話の中から希望を引き出し、それに基づいて、職員が外出計画を立て、個別あるいは全体で出かけている。家族には、事前に連絡をして同行をお願いすることもある。                              | ○    | 年1回のふるさと訪問・墓参り・祝い事や法事など、家族の協力があり、実現している。春と秋には県外への日帰り旅行を実施しているが、今後は一泊旅行を目標にしている。 |

| 項目                     |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                  |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------|
| 63                     | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 電話をかけたいという時は、自由に使用してもらっている。家族には、かける番号や時間帯などの確認をしている。利用者が、暑中見舞いや年賀状を家族等に出すことができるよう支援している。       | ○    | 利用者には、家族の名前や電話番号を記入した名札を持っていただいている。                               |
| 64                     | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 家族等や知人が、気軽に訪問できるよう心がけている。また、居室で利用者と家族等が、ゆっくり過ごしていただけるように工夫している。                                | ○    | 外出が多いので、面会者が来ても留守ということが何度かあったため、家族等にはできる範囲で、事前に連絡をさせていただくようにしている。 |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b> |                                                                                         |                                                                                                |      |                                                                   |
| 65                     | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | すべての職員は認識はしているが、禁止の対象となる具体的な行為を、正しくは理解しているとは言えない。                                              | ○    | 勉強会や研修を重ね、すべての職員が、正しく理解できるよう取り組んでいく。                              |
| 66                     | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | すべての職員が認識しており、疑問がある場合は、ミーティングの際に話し合うようにしている。                                                   |      |                                                                   |
| 67                     | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 職員は見守りやすい場所において、さり気なく利用者の様子を把握するようにしている。住居内が狭く、業務をしても、全体が把握できる。                                |      |                                                                   |
| 68                     | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 刃物・はさみ等は、日中は自由に使ってもらっているが、夜間は、薬品類と共に利用者の目につかない所に保管している。服薬は、鍵付きの戸棚へ保管、洗剤などがある洗濯室は、鍵をかけるようにしている。 |      |                                                                   |
| 69                     | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | マニュアルを作成している。一人ひとりの状態に応じた事故防止は、介護計画の中に組み込み、防止に努めている。                                           | ○    | 事業所独自の分かりやすいマニュアルを、作成していくようにする。                                   |

| 項目                        |                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                          | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                                        |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 70                        | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | 年1回救急研修を実施している。マニュアルはあるが、すべての職員が内容を熟知しているとは言えない。                                                         | ○    | 年2回は救急研修を実施し、定期的な勉強会を開くなどして、すべての職員が急変時や事故発生時に、適切な対応ができるよう備えるようにする。                                      |
| 71                        | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | 消防署と連携して、年2回の防火訓練を実施している。自治会の防火災害委員会に利用者名簿を提出して、日ごろから協力が得られるようにしている。                                     |      |                                                                                                         |
| 72                        | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 疾病や体調等の変化等により起こり得るリスクについて、事前に家族に説明している。職員間での話し合いも行っている。                                                  |      |                                                                                                         |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                              |                                                                                                          |      |                                                                                                         |
| 73                        | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 顔色や表情、言動、更衣や入浴の際の身体観察等、異常のサインを早期に発見できるように注意して、その変化を記録している。                                               |      |                                                                                                         |
| 74                        | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 処方薬の説明書を必ず確認し、目的や副作用など理解している。一日の服薬を分けて、服用する時間ごとに職員が手渡したり、服用介助をし、きちんと服用を確認して記録している。                       | ○    | 新たに処方された服薬に関する症状の変化等を記録し、かかりつけ医に報告している。服薬が出された日付や何日分か、いつから服薬が変更になったか等、すべての職員が分かるように、服薬チェック票を作成し、工夫している。 |
| 75                        | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 食事には必ず汁物をつけるようにしたり、寒天を利用したデザートを毎日作って、おやつ等に食べるようにしている。また、毎日の散歩やリハビリ・自力での移動援助など、少しでも身体を動かしさせるような取り組みをしている。 |      |                                                                                                         |
| 76                        | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                    | 毎食後にうがいや歯磨きなど行っている。介助が必要な方は、できることは見守り、磨き残しがないように介助を行っている。電波ハブラシも利用している。義歯は必ず就寝前に回収し、洗浄液に浸け、清潔を保つようにしている。 | ○    | 訪問歯科を利用していたが、利用者の金銭的な負担等があり、現在は利用せず、協力歯科医院にて随時見てもらっている。                                                 |

| 項 目                     |                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                    | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                   |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------|
| 77                      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事量は、食事ごとに量を記録している。水分摂取は毎食時・おやつ時・入浴後等の摂取や、夏場はゼリーなど作り、毎日摂取するように工夫、また、テーブルにお茶を用意して、いつでも摂取できるようにしている。 |      |                                                                    |
| 78                      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)                                         | 利用者、職員とも、インフルエンザ予防接種や外出後のうがい、手洗いの実施などの取り決めがあり、感染予防のマニュアルがある。                                       | ○    | 事業所独自の感染予防マニュアルがない状態なので、分かりやすいマニュアルを作成するようにしたい。                    |
| 79                      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている                                        | 利用者が食器洗い等してくれるが、もう一度、食洗機を使用して洗い、乾燥するようにし、台所周辺はアルコール消毒を行っている。冷蔵庫の中の食品には日付を記入している。                   |      |                                                                    |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |                                                                                                           |                                                                                                    |      |                                                                    |
| (1)居心地のよい環境づくり          |                                                                                                           |                                                                                                    |      |                                                                    |
| 80                      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関に小さいながら花壇を作り、季節ごとの花を利用者と育てている。                                                                   | ○    | 一見、マンションとして見えるような外観なので、花壇のそばに木のベンチを置いて、誰でも座って、花を眺めることができるように考えている。 |
| 81                      | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 狭いが、台所居間兼食堂と一つになっていて、入居者と雑談しながら共に作業ができる。生活の中の聞き慣れた音がし、心地よく過ごせる空間となっている。                            | ○    | 季節ごとの貼り絵や写真などを、飾る工夫をしていきたい。                                        |
| 82                      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 居室は寝るところだとの意識があり、体調不良時以外は、日中は全員が居間に集まっています。その中で、個々に居場所を見つけ、くつろいでいる。                                |      |                                                                    |

| 項 目                     |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                       | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                        |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 83                      | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | なるべく家族と相談して、使い慣れたものや好みのものを活かしているが、個々の事情によってばらつきがある。                                                   | ○    | 写真を飾ったり、個々の作品など、事業所での生活を重ねていく上で本人が居心地よく生活していけるように工夫していく。                                |
| 84                      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている        | 空調機能の利用や窓の開け閉めにより、定期的に空気を入れ替えている。暖房、冷房の設定温度には気をつけ、利用者の状況に応じて、足元暖房や衣類調節などをこまめに行っている。                   |      |                                                                                         |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                         |                                                                                                       |      |                                                                                         |
| 85                      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 手すりは、随所に設置、トイレも車椅子でも楽に利用できるようにしている。自立した生活が送れるように、一人ひとりの身体状態に合わせた、補助用具を準備している。                         | ○    | 浴室の床は滑らない素材を使っているが、障害のある方にとってはすべる危険性がある。浴槽内も同じ状態なので、入浴時は二人で対応し、安心して入浴できるよう今後も取り組むようにする。 |
| 86                      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | 居室は個々に違ったネームプレートを下げて、分かるようにしている。ドアの色を各居室、浴室・トイレ等は変えている。                                               |      |                                                                                         |
| 87                      | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                   | ベランダで簡単な野菜を作り、利用者が育てており、洗濯物干しなどに活用している。玄関先は入居者と共に季節ごとの花を植え、水遣りや草抜きなどの活動を行ったり、外周りの掃除などで活動できるように活かしている。 | ○    | 玄関の側は交通量が多く、建物の裏側は水路があるため、十分気をつけて、活動行うようにしていく。                                          |

| V. サービスの成果に関する項目 |                                                  |                       |              |
|------------------|--------------------------------------------------|-----------------------|--------------|
| 項 目              |                                                  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○                     | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |                                                  |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |                                                  |                       | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |                                                  |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         |                       | ①毎日ある        |
|                  |                                                  | ○                     | ②数日に1回程度ある   |
|                  |                                                  |                       | ③たまにある       |
|                  |                                                  |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                  |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○                     | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |                                                  |                       | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |                                                  |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |                                                  |                       | ④ほとんどできていない  |

| 項 目 |                                                         | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ①ほぼ毎日のように    |
|     |                                                         |                       | ②数日に1回程度     |
|     |                                                         | ○                     | ③たまに         |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている |                       | ①大いに増えている    |
|     |                                                         | ○                     | ②少しずつ増えている   |
|     |                                                         |                       | ③あまり増えていない   |
|     |                                                         |                       | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている                                          | ○                     | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |                                                         |                       | ②職員の2/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | ③職員の1/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |                                                         |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○                     | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |                                                         |                       | ②家族等の2/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどできていない  |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

外に出かけて行く、外で食事をする事等は、私達にとっても楽しく思い出に残るように、利用者の方々にとっても同じだとの思いから、毎月外出や外食など、できるだけ外に出かけるよう取り組んでいます。季節ごとの行事はもちろん、春と秋には県外へ日帰り旅行を実施しています。要介護度に関係なく、全員参加していただいています。入居者の誕生日には一緒にケーキを作り、誕生者の希望の店で食事をしながら、みんなでお祝いをします。また、個々の趣味や嗜好などに沿った外出なども実施、映画・芝居の鑑賞・外食(女性の好きなランチめぐりやケーキバイキング等)・温泉・お寺めぐり・年1回の生まれ故郷への帰省の援助・夜間外出など、私達が普通に生活していることと変わらない支援を行っています。そのことでの一番の効果は、みなさん風邪を引かなくなったことです。